

## ボタニカルアート作品展 展示記録 (2009 年度)

### Record of “Botanical art exhibition” 2010

野崎ますみ (NOZAKI Masumi)

名古屋大学博物館  
the Nagoya University Museum

会 期：2010 年 1 月 19 日火曜日～2 月 20 日土曜日（延長）

会期中入館者数：2,180 名

主 催：名古屋大学博物館

協 力：名古屋大学博物館友の会

#### ボタニカルアート作品展ご挨拶

名古屋大学博物館友の会では、毎月 1 回、土曜日に植物画好きが集まり、ボタニカルアートサークル（講師：東海林富子）を開いています。このサークルは、今年で 4 年目を迎えます。会員は 1 年目の方から長く書き続けている方までいろいろですが、楽しみながら筆を運んでいます。

今回の作品は主に今年度に描いた物で、博物館観察園をはじめとする大学構内の植物もあります。また、第 1 会場：博物館展示室（日、月休館）、第 2 会場：観察園セミナーハウス 2 F（土、日休館）と 2 カ所に分けて展示をしてありますので、皆様どうぞお楽しみ下さい。



#### ボタニカルアートの技法

ボタニカルアートは、見たままに詳細に植物を描きます。大きさはもちろんのこと（変えた場合は倍率を絵の横に付け加えます）、葉や花びら、萼の枚数を変えることも出来ません。虫に食われた痕や傷なども忠実に描きます。また、背景は白い紙のままです。

デッサンは細い鉛筆（0.3mm のシャープペン）を使い薄い線で描きます。絵の具は透明水彩絵の具を使い、薄い色から細い筆を使い何回も塗り重ねていきます。基本的に白い絵の具は使わず、白いところは紙の白を残すようにします。

## ボタニカルアートの歴史

ボタニカルアートは、写真のない時代に植物学と共に発展した植物細密画です。

15 世紀の末、大航海時代に入ると植物ハンターと共に画家が世界中をめぐり、新種の植物を描きました。また、18 世紀になり、植物の品種改良技術が進み、バラの絵で有名な宮廷画家ルドゥーテ（1759～1840）が現れました。さらに同時期に版画の技術革新もあってボタニカルアートの技法も確立し、芸術的にも評価されました。写真が発達した現在でも額に入れて飾るだけではなく、学問的価値もあり、図鑑などに用いられています。

## 展示品

ピエール＝ジョセフ・ルドゥーテ 「バラ図譜」 1817～1824 フランス 複製

W. カーティス 「カーティス・ボタニカルマガジン」 18 世紀末～19 世紀初頭イギリス 銅版手彩色  
個人蔵

E. ステップ 「温室と庭園の花々」 1896 イギリス 多色石版画手彩色 個人蔵

他は、末尾の作品リストに記載



モモ バラ科 東海林富子



会場風景 1



会場風景 2

# ボタニカルアート展示リスト

ボタニカルアート作品展 作品一覧「会期：2010年1月19日～2月20日」

氏名	作品名1	作品名2
故 西川 伶子	コチョウラン ラン科	
浅田 レイ子	カボチャ ウリ科	スイセン ヒガンバナ科
加藤 和子	ベニバナイチヤクソウ イチヤクソウ科	ノブドウ ブドウ科
蔵富 緑	ベゴニア（四季咲き） シュウカイドウ科	シバグリ ブナ科
小嶋 三奈子	ヘレボス（クリスマスローズ） キンボウゲ科	オクナ・セルラタ（ミッキーマウスの木） オクナ科
定直 佳代子	リーガースベゴニア シュウカイドウ科	ナンテン メギ科
佐藤 明子	トマト（カラートマト） ナス科	ガガイモ科 オキシベタルム （ブルースター）
田口 弥生子	サフラン アヤメ科	ヤマツツジ ツツジ科
信長 正義	オダマキ キンボウゲ科	デルフィニウム キンボウゲ科
平古 三紀子	ヒメツルソバ タデ科	オオカメヅタ ウコギ科
星野 治	トウガラシ（クリスマスキャンドル） ナス科	ザクロ ザクロ科
間瀬 美枝子	アラカシ ブナ科	サクラ（ソメイヨシノ） バラ科
柳沢 由紀子	ツバキ ツバキ科	サザンカ ツバキ科
吉野 奈津子	コエビソウ キツネノマゴ科	カキ カキノキ科
若原 静映	ハッサク ミカン科	バラ（ナニワイバラ） バラ科
足立 智恵子	トマト（ミニトマト） ナス科	キュウリ ウリ科
伊藤 千代子	オオハングンソウ（ルドベキア） キク科	サフラン アヤメ科
大島 真澄	センニチコウ ヒユ科	ウリカエデ カエデ科
久野 チヨ子	ハナズオウ マメ科	サトイモ科
久米 敦子	トウガラシ（ミニバブリカ） ナス科	フサスグリ バラ科
柴原 正子	リンゴ バラ科	カキ カキノキ科
西口 幸子	ザクロ ザクロ科	シラカシ ブナ科
羽廣 准治	ツバキ ツバキ科	ポインセチア トウダイソウ科
巻島 順子	カクレミノ ウコギ科	ハッサク ミカン科
松井 富美子	ナツツバキ ツバキ科	イヌタデ タデ科
東海林 富子（講師）	ビワ バラ科	
	シラユキゲシ ケシ科	
	サフラン アヤメ科	
	モモ バラ科	
	ウメ バラ科	
	ツリバナ ニシキギ科	
	チューリップ ユリ科	
	野菜	
	スイセン ヒガンバナ科	
	コトネアスター バラ科	
	キク キク科	
	アーティチョーク キク科	
	カキ カキノキ科	
	カワラナデシコ ナデシコ科	
	ミカン ミカン科	

※講師作品は入れ替わりに展示しています。

## 謝 辞

ボタニカルアート作品展を開催するに当たり、以下の方に御協力いただきました。

名古屋大学博物館友の会ボタニカルアートサークルの皆様

名古屋大学博物館友の会ボタニカルアートサークル講師の東海林富子先生

名古屋大学博物館観察園 吉野奈津子様

(2010 年 10 月 15 日受付)